

松戸市議団ニュース

日本共産党松戸市議会議員団

《連絡先》松戸市役所控室

電話 (366) 7403

F A X (366) 5915

松戸市3月議会が始まりました

新型コロナウイルスによる混乱が広がっています。桜疑惑でも検察官定年延長でも説明をせず、あらゆる問題から逃げ続ける安倍政権にこれ以上私たちの暮らしを預けることは出来ません。

このような状況の下、3月議会が始まり、新松戸駅東側区画整理事業に関する一般会計及び国保、介護、競輪などの特別会計への補正予算審査が行われ、市民の暮らし重視の立場で討論を行いました。

5日(木)、平田きよみ議員が代表質問に立ち、市長の政治姿勢、大型開発、教育、福祉、子育てなどについて論戦します。

予算審査特別委員会では、ミール計恵議員が新年度の予算に臨みます。市民の暮らし福祉を守るために市民のみなさんと心ひとつに頑張る決意です。

◆代表質問 平田きよみ 3月5日(木) 1番目

一、市長の政治姿勢について

(1) 平和への取り組みについて

ア、自衛官募集の自治体への要請について

イ、下総航空基地の情報提供と市民への注意喚起は

ウ、平和事業の展開について

エ、世界平和都市宣言35周年、戦後75周年について

(2) 大型開発構想と公共施設再編及び跡地活用について

ア、新松戸駅東側地区の区画整理事業について

イ、新拠点ゾーンの整備計画について

ウ、市庁舎について

エ、北千葉道路について

オ、明市民センターについて

カ、公共施設再編の進め方について

(3) 政策決定における議会や市民との協同について

(4) 市長の退職金支給をめぐる条例遵守の考え方は



二、ゆきごじいた教育の実現に向けて

(1) 教員不足の認識と対応について

ア、代替教員未配置の実態と各校の対応

イ、教員不足による多忙化について

ウ、例年繰り返される現状の根本的原因について

(2) 学校におけるいじめの問題について

ア、教員間のいじめやパワハラ・セクハラの実態と市

教育委員会の認識について

イ、児童生徒や教員への影響について

ウ、教員の相談窓口について

エ、松戸市いじめ防止対策委員会の答申について

(3) 学校間の学級数の大きな違いについて

ア、特別支援学級や放課後児童クラブの設置への影響

イ、学校選択制についての今後の見通しは

(4) 学校プールの現状と水泳授業について

(5) 教科書採択への姿勢について

三、市民が安心して暮らすための施策及び福祉について

(1) 消費税増税の市民生活への影響について

ア、商店街や中・小零細企業・市民等の現状に対する市の認識について

イ、増税から市民生活を守るための市の対応は

(2) 医療・国民健康保険について

ア、全世代型社会保障検討会議中間報告と市民生活への影響について市の認識は

イ、国民健康保険料均等割の廃止あるいは減免

ウ、新型コロナウイルス感染症対策について

エ、市立総合医療センター女性特別外来の拡充

(3) 介護保険制度について

ア、介護人材不足による事業所の運営困難及び廃業等

イ、特別養護老人ホームの充足状況・待機者・増設の見通しについて

ウ、地域包括支援センターの体制及び業務の実態と改善策について



◎3月議会の主な日程

日	曜	議事内容 (午前 10 時～)
3/5	木	本会議：一般質問 平田きよみ代表質問
/6	金	総務財務常任委員会 うつの史行議員
/10	火	健康福祉常任委員会 山口 正子議員
/11	水	教育環境常任委員会 平田きよみ議員
/13	金	建設経済常任委員会 ミール計恵議員
/16	月	予算審査特別委員会 ミール計恵議員
/17	火	〃 〃
/19	水	〃 〃
/23	月	〃 〃
/25	水	本会議：議会最終日 議案・予算・意見書等の討論、採決

*裏面、「新型コロナウイルスに対する要望書」提出済

(4) 松戸市への県立児童相談所の新設について

(5) 公営住宅の現状と課題について

四、子育て支援について

(1) 幼児教育無償化による現状と課題について

ア、2019年度と2020年度の市財政への影響

イ、保育の見通しと整備について

(2) 保育の質の確保について

ア、保育士の確保は配置基準に見合っているか

イ、乳幼児の健全育成への環境整備について

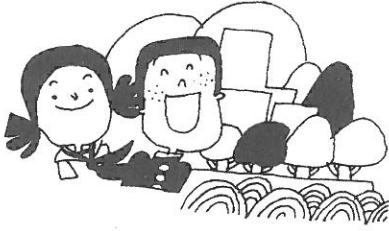
ウ、預かり保育の現状と課題について

(3) 放課後児童クラブの質的・量的実現に向けて

五、交通政策について

(1) コミュニティバス及び公共交通の充実について

(2) 県道松戸鎌ヶ谷線の五香・六実間の整備



松戸市長 本郷谷健次 様
松戸市教育長 伊藤純一 様

2020年3月2日
日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会
日本共産党松戸市議団
日本共産党県会議員 みわ由美

新型コロナウイルス感染症に関する松戸市立小中高等学校における臨時休校措置について

平素からの、市内児童生徒育成へのご尽力に敬意を表します。

2月28日に通知された松戸市立小中高等学校の臨時休業措置について、児童生徒、保護者、学校関係者、放課後児童クラブ関係者から、多くの懸念の声が上がっています。特に重要と思われるのは、保護者の負担増と給食の停止、放課後児童クラブの負担増です。保護者の休業は企業の理解が欠かせませんが保障の限りではありません。ひとり親家庭や共働きの保護者にとって長期間お弁当を用意するのは大変な負担です。生活が困難な家庭の児童にとって学校給食は欠くべからざるものという現実があります。今回の新型コロナウイルスの子どもへの感染リスクは低く、重症化の可能性も低いと言われていますが、学校より濃厚接触となる放課後児童クラブの朝からの開所は感染のリスクをかえって高めます。以上のことから全国にはいっせいで休校を実施しない自治体も少なくありません。

そこで、以下の点を要望いたしますので、自治体と教育委員会の主体性を発揮して頂き、充分ご検討をお願いいたします。

- 1、国の一斉休校という要請に対しては、実態に即した柔軟な対応を求めます。
- 2、休校措置をとる場合、希望者には給食を提供してください。
- 3、休校措置をとる場合、大きな負担のかかる放課後児童クラブに手厚い人的・財政的支援を行ってください。
- 4、休校措置をとる場合、休校によって仕事を失う学校の非正規や臨時職員、給食関係者の「休業補償」を政府に求めてください。
- 5、児童生徒、保護者、学校関係者、放課後児童クラブ関係者からの要望を大切に、敏速・適切に対応してください。

以上

